



こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

11月も間もなく下旬。今年も年末が見えてきました。

このトリプルマガジンも間もなく **1周年を迎える** ということで、今回は「**祝1周年 トリプルマガジンで一番読まれなかった記事はこれだ!**」をお届けします。

その他にも「AIZE 導入事例」「IT 批評」など盛りだくさんの内容でお届けします。ぜひ最後までご覧ください!

-----<目次>-----

1. 祝1周年 トリプルマガジンで一番読まれなかった記事はこれだ! 「text by 桐原」
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

1. 祝1周年 トリプルマガジンで一番読まれなかった記事はこれだ! 「text by 桐原」

トリプルアイズが画像認識プラットフォーム・AIZE をサービスローンチして、お客様との関係をより密にしているということで始まった「トリプルマガジン」は、本号をもって **1周年**を迎えます。

AIZE にまつわる情報配信はもとより、トリプルアイズの取り組みを紹介させていただきながら、みなさまに少しでも有益になるようにと、担当社員はりきって運営しております。

広報担当の白石さんが編集長、ベテラン広報の土田さんが副編集長、マーケティング室の宍戸くんが編集、取締役の桐原がにぎやかという布陣で毎回お送りしてきました。これからも、このメンバーで頑張ります!

隔週で編集会議を開催して、いただいた反響をもとに前号の振り返りをしては一喜一憂。思いのほか読まれた記事が新卒の渡部くんに特別寄稿してもらった「**コロナ禍で新卒が気がついた大切なこと**」(2020年12月下旬号)だったり、もっとも反響が薄かったのが単著もある桐原の書いた「**大谷翔平選手の打球速度はどうやって計っているのか? メジャーリーグに見るアメリカのデータ主義**」(2021年5月下旬号)だったり、皆であーだこーだと言いながら執筆、編集しております。

嬉しいのはやっぱり AIZE の記事で反響があったときです。次の 1 年も、たくさん反響いただけるような AIZE の進化をお伝えできるニュースをどんどん配信します。これからも、どうぞよろしくお願いいたします！

今回も反響うすいと桐原の面目が立たないですね、しかし。

2. トリプルニュース

Green Snap 公式アプリに画像認識 AI・AIZE が採用されました！



道を歩いていて「この花の名前、なんていうんだろう」と気になることはありませんか？

植物コミュニティアプリ Green Snap に搭載された「教えてカメラ」は、名前のわからない植物や花を撮影すると AI や Green Snap ユーザーが名前を教えてくれる、お出かけのお供にしたいくなるアプリです。

今回、判定機能のアップデートに際して Green Snap 社様よりお声がけいただきました。植物判定にも AIZE の画像認識 AI が活用されています。

アップデート版では判定可能な植物の品種が約 2 倍に。さらに判定精度も大幅にアップ！ 対応している品種では 9 割以上の確率で正しい植物の名前を知ることができるようになりました。

皆さんもぜひお出かけの際は「教えてカメラ」をお試しください。

GreenSnap Web サイト：<https://greensnap.jp/>

秋田県の大型スーパーマーケットに AIZE Research+ 導入！



今年で 60 年目を迎える地域密着型企业、株式会社マルシメ様が運営する大型スーパーマーケット「スーパーモールラッキー」に AIZE Research+ をご導入いただきました。

実は今回ご導入いただいたのは、新製品の「タレット型 AI サーマルカメラ」。

顔認証マーケティングと検温を最大 4 名まで同時に行うことができます。人の流れが多い施設にぴったりですね。

実導入前、社内で実証実験が行われていたので私も体験してみました。額のすこし上に体温が表示される様子がモニターで確認でき、つつい何度も試したくなってしまいました（笑）

こちらもぜひ、併せてご覧ください。

<https://www.3-ize.jp/information/?p=2182>

4. IT 批評

11 月も刺激的な記事が目白押しです！



[「常盤木龍治の地方 DX 快刀乱麻 vol.001——地域地方が存続する道は本当に DX である必要はあるのか」](#)

[「人間にさえ掴みきれない言語を AI はどこまで掴めるのか——『言語学バーリ・トゥード』で話題、川添愛氏インタビュー」](#)

[「知能はどこまで普遍的か？ 「万能の学」としての AI 研究開発」 桐原永叔](#)

EBILAB 最高戦略責任者にしてエバンジェリストの常盤木龍治氏が満を持して IT 批評に登場。地方 DX の伴走者である常盤木氏の連載スタートです。

さらに、今年『言語学バーリ・トゥード』で読書界の話題をさらった川添愛氏にインタビュー。AI は人の言葉にどこまで近づいているのか、深くお聞きしました。

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

トリプルマガジンも間もなく 1 周年。こうして継続できているのは、お忙しい合間を縫ってお読みいただいている皆さまのおかげです。いつも、本当にありがとうございます！

これからも、少しでも読んでよかったと思っただけのメルマガを配信できればと思います。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
